

# 方面隊のあゆみ(3)

## 大火をひも解く

### 司令課

#### はじめに

昭和42年8月方面隊発足以来、数々の「大火」と闘い、経験と研鑽を積み重ね防御技術向上に努めてきた。経験の中には「限界」に直面し挫折や無力を感じた火災現場も少なくはない。特に「49マル多数あり・人命救助最優先」の中で流れる「14マル発見」の無縁。それがとどまることなく流れてくれば：

「千日デパート火災」「天六ガス爆発火災」に次ぐ15名もの死者が発生した「個室ビデオ店火災」をひも解いていきたい。

#### 火災概要

- 覚知日時 平成20年10月1日(水) 2時59分
- 発生場所 大阪市浪速区内 1階個室ビデオ店
- 構造様式 R C 7階建複合用途

建262.㎡延1318㎡  
(上階事務所最上階管理人居宅)

#### ● 焼損程度

1階店舗 占有220㎡の内

30㎡焼損

天井側壁 39㎡焼損

死者15名

負傷者10名

風向北東 風速2m

気温19℃ 天候少雨

● 出場隊数 40隊 117名

● 主な任務 消火5 救助5 救急14

● 第1出場 救命(19次) 29台 11台

#### 時系列

2時59分 第1出場(消防11隊)

災害覚知 (通報者:従業員)

続報有「1階ビデオ店、煙が出ています」

3時03分 救助中隊出場 (救助3隊)

3時07分 救急中隊出場 (救助4隊)

3時14分 救急増強出場 (救急2隊)

3時19分 大型ブローカー車出場

3時22分 医師搬送

3時32分 救急増強出場 (救急1隊)

3時39分 救急増強出場 (救急5隊)

3時45分 エアーテント搬送

4時33分 鎮圧

#### 建物(個室ビデオ店)の状況について

(別図参照)

○ R C 7階建複合用途ビルの1階で南北に長い異形な建物外郭である。

○ 建物周辺の状況

北側(店舗入り口、6m公道)

西側(6階建)建物

南東側(店舗入り口、平面駐車場)

東側(5、6階建)建物

○ 外周部から1階に2箇所の開口部(窓)あり。(内部からは内壁で覆われ確認できない)

○ 店舗出入口は2箇所(北、南東)でビデオ陳列スペース、受付がある。

○ 試写個室スペースの出入口は1箇所(北側)にある。(受付前)

○ 試写個室エリアは32室(1室2.5×4㎡弱)の他、トイレ、シャワー更衣室などがある。

○ 個室配置は入り口付近については左右対称であるが、奥へ進むと入組んだ袋小路である。

○ 廊下幅は最大1.2mで各扉は外開きである。(自動閉鎖機能なし)

○ 従業員は3名勤務。受付で入室管理を実施。

#### 試写室の間仕切壁・内装について

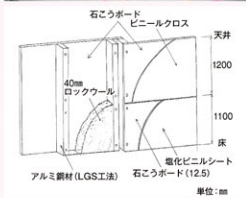
屋外から開口部が確認されたのは12号室22号室の2室のみであるが、内貼り(石膏ボード)で内部からは確認できない。

各室の区画はアルミ製軽量鉄鋼材(45mm×60mm)のLGS工法で断熱材(50mm)を石膏ボード(12.5mm)で挟んでいる。表面仕上は床面から腰高さ(1100mm)が塩化ビニルシート、腰高さから天井(1200mm)ビニールクロスである。

#### 焼損状況について

本火災で焼損が確認されているのは1階個室ビデオ店試写室コーナーのみで陳列コーナーは煤けの

アルミ製軽量鉄鋼材LGS工法(例)



【標準室内寸法図】

